

# 事業評価シート

番号 0660090 - 001

## 【1.基本情報】

事業名	歴史博物館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。	
事業の内容	総合展示の維持・管理と特集展示の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究	
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日
令和元年度 (実施内容)	総合展示の維持・管理および展示替えと特集展示の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	16,484	520	24,726	780	26,520	780
嘱託職員	8,034	780	2,678	260	5,408	520
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	24,518	1,300	27,404	1,040	31,928	1,300

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		113,670	150,362	262,029
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	光熱水費	22,531	23,203	19,519
	資料購入費	1,912	3,170	88
	資料保存処理業務委託	1,188	1,242	2,145
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		113,670	150,362	262,029

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	138,188	177,766	293,957

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	2,983	2,630	1,848
その他	1,927	478	4,836
計(F)	4,910	3,108	6,684

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	133,278	174,658	287,273

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	14,609	12,921	6,639
受益者負担額(千円)	2,983	2,630	1,848
受益者負担率(%)	2.2%	1.5%	0.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	9,123	13,517	43,271

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	特集展示回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6	6	6
実績値	7	5	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	常設展示一日平均観覧者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	80	80	80
実績値	84	72	87

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えるとともに、魅力を発信する施設として、市民・社会のニーズに応えている。  市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えるとともに、魅力を発信する施設として、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	資料の収集・保存及び調査・研究など短期的な収入に結びつきにくい業務があるが、長期的には有効と考えられる。  歴博ボランティアを導入し、総合展示室における体験指導及び補助と展示解説等を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信でき、トリップアドバイザー日本MP上で、当館は岐阜市内観光スポット中10位に位置している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求め一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	平成17年3月にリニューアルして14年が経過した。その間、市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信できた。今後は総合展示室の更新も見据えながら遂行したい。 一方、開館以来32年間、岐阜市とその周辺地域を中心とする歴史と文化に関わる資料を中心に収集・保存している。 なお、9月24日から12月16日までの間、大型改修工事に伴い臨時休館をした。また、令和2年1月11日から「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」を開催している。

# 事業評価シート

番号 0660090 - 002

## 【1.基本情報】

事業名	歴史博物館展覧会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。				
事業の内容	企画展・特別展の開催、展覧会に関する資料等の調査・研究				
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
令和元年度 (実施内容)	企画展(タイムスリップ!大むかしのくらし、ちょっと昔の道具たち)、特別展(粋な古伊万里、竹の造形和紙の彩、発掘された日本列島2018)				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	49,452	1,560	41,210	1,300	44,200	1,300
嘱託職員	0	0	2,678	260	2,704	260
アルバイト	828	180	1,656	360	1,692	360
計(A)	50,280	1,740	45,544	1,920	48,596	1,920

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	開催負担金	137,670	22,540	16,960
	資料輸送業務委託	756	1,611	4,455
	会場構成業務板城	3,434	6,080	1,664
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		160,629	39,554	27,332

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	210,909	85,098	75,928

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	3,344	3,478	2,194
その他	50,477	3,753	5,173
計(F)	53,821	7,231	7,367

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	157,088	77,867	68,561

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	110,410	59,203	94,794
受益者負担額(千円)	53,821	8,131	7,367
受益者負担率(%)	25.5%	9.6%	9.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,423	1,315	723

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	企画展および特別展開催日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	180	180	180
実績値	202	248	208

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	企画展および特別展一日平均観覧者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	250	250	250
実績値	221	187	424

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育施設として市民に質の高い歴史、文化に身近に触れる機会を提供することで、学校教育、生涯学習に資するとともに、岐阜市を誇りとするシビックプライドを醸成し、あわせて市外からの集客を図る。  国内の国宝、重要文化財から国外の貴重な文化財まで公開できる施設及び人材を市が有しているとともに、深く教育に関わり、市の文化行政と密接な連携を図る必要性から、市が主体的に実施すべきである。
<b>効率性</b> (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	社会教育施設として、短期的な収益の向上のみを目指すのではなく、長期的な教育的効果の向上が重要である。  特別展開催にあたって、新聞社等より出資を得て実行委員会を組織して運営している。また、企画展では市民ボランティアの活用を図り事業を実施している。
<b>有効性</b> (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民の岐阜市を誇りとするシビックプライドの醸成、岐阜市の友好都市をはじめとする諸外国の文化と歴史の紹介と理解、さらに岐阜市に係る歴史と文化を発信する観光拠点施設として有効性が高い。
<b>公平性</b> (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各特別展実行委員会は経費を基に算出した特別展観覧料を設定し受益者(観覧者)に負担を求めるとともに、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とする議決を行い、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深めることができた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示を通じ発信できた。 なお、企画展の開催については、学校教育との連携(博学連携)を前提としたものも多く、今後も効果的に展開していきたい。

# 事業評価シート

番号 0660090 003

## 【1.基本情報】

事業名	歴史博物館教育普及				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を行う。	
事業の内容	一般および子ども・親子を対象にした、郷土の伝統文化に関わるものづくりや教養講座を開催するとともに、小学校の授業支援を行う。	
事業の対象	何を	岐阜市の歴史や文化を学習する機会の提供
	誰に (対象者・対象者数)	市民全般
	どのくらい (具体的 数値で)	9講座
令和元年度 (実施内容)	古文書入門・落語って面白い・岐阜提灯を作る・岐阜和傘を作る・子ども歴史講座・夏の子ども教室・土曜講座・まちなか博士サポート講座・出前授業・特別講座を開催するとともに、歴博ボランティアを導入し、市民が学習成果を活用できる場を提供した。また、新規に中学生ボランティアによる展示説明等を行うことにより、地域の歴史と文化を学ぶ場を提供した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	7,925	250	8,242	260	8,840	260
嘱託職員	2,678	260	2,678	260	2,704	260
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,603	510	10,920	520	11,544	520

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		4,734	3,550	8,507
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	博物館だより印刷	495	412	463
	研究紀要印刷	0	678	0
	館蔵品図録印刷	0	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,734	3,550	8,507

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,337	14,470	20,051

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	144	1,268	1,959
計(F)	144	1,268	1,959

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,193	13,202	18,092

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民全般	岐阜市民全般	岐阜市民全般
受益者数	1,072	985	1,100
受益者負担額(千円)	1,721	1,268	1,959
受益者負担率(%)	11.2%	8.8%	9.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	14,173	13,403	16,447

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	9	9	9
実績値	9	8	8

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座のべ参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,180	1,180	1,180
実績値	1,072	985	1,100

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学習指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座を開講することが重要であり、社会教育に対する市民・社会のニーズに応えている。 子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学校指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座の開講や、中学生ボランティアによる展示説明等の活動を通し、生きる力とシビックプライドの醸成を図ることが必要である。これらは教育に深く関わることから市が主体的に実施すべきである。
<b>効率性</b> (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子どもたちに対する郷土教育は、今後の人生に対する希望と目標を与えるためのものであり、教育的効果は高いと思われる。 講座の開催にあたり、市が主催ということで、講師やボランティアの積極的な協力が得られている。
<b>有効性</b> (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を効果的に行っている。
<b>公平性</b> (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。ただし、土曜講座、まちなか博士サポート講座等、内部講師でありかつ材料費等の費用もかからないものは無料としている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育との連携・支援について積極的に調整を図り、効果的に開催することができた。 また、傘・提灯など郷土の伝統工芸品を扱う講座はもちろん、岐阜市の歴史を扱う講座を開講し歴史・文化の発信による市民のシビックプライドの醸成に寄与した。 なお、前年の中高生ボランティアによる展示案内・解説等に続き、「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」において、中高生による解説活動・外国語通訳案内活動として通し、郷土資源を活かした地域の誇りと、子どもの生きる力の醸成に顕著な成果が認められた。今後も拡大して事業を推進しているところである。

# 事業評価シート

番号 0660090 004

## 【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の芸術文化的な魅力を全国に発信する拠点施設として、観光面で大きな役割を果たす。				
事業の内容	第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を展示し画業を顕彰する。 第2展示室において、地元で活躍する画家・作家グループなどの作品を展示する。				
事業の対象	何を	加藤栄三・東一両画伯およびふるさと岐阜にゆかりのある作家の作品を紹介			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
令和元年度 (実施内容)	第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を紹介する企画展を5回開催した。 第2展示室において、地元で活躍している画家や作家グループなどの作品を紹介する企画展を9回開催した。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	7,519	730	7,519	730	7,592	730
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,519	730	7,519	730	7,592	730

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		10,754	12,103	10,646
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	ポスター等印刷	839	1,655	1,866
	作品輸送業務委託	2,300	2,847	1,716
	会場構成業務委託	967	807	338
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		10,754	12,103	10,646

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	18,273	19,622	18,238

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	654	671	639
その他	101	1,109	1,201
計(F)	755	1,780	1,840

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	17,518	17,842	16,398

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	9,860	7,706	8,866
受益者負担額(千円)	654	671	639
受益者負担率(%)	3.6%	3.4%	3.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,777	2,315	1,850

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	303	303	303
実績値	307	311	305

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	12,000	12,000	12,000
実績値	9,860	7,706	8,866

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	全国レベルの加藤栄三・東一両画伯の作品から郷土作家の作品までそれぞれの作品を展示することで、市民文化の発展に寄与している。  加藤栄三・東一両画伯の画業顕彰はもとより、地元作家を発掘し芸術活動を顕彰する場の提供は、専門知識を有し、地元の事情に精通し、調査から展示までを一貫して行うことが必要なため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	絵画を中心に全国レベルの郷土作家の作品を紹介し、費用以上の内容の展覧会を開催している。  市立美術館という公共性が背景にあって、レベルの高い展覧会の開催が可能となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力を全国に発信するという独自のコンセプトにより、観光面での大きな役割を果たすことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体身障者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与し、さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力を全国に発信する独自のコンセプトによる拠点施設として、観光面での大きな役割を果たしてきた。 一方、加藤栄三・東一両画伯をはじめ郷土作家を中心とする資料を中心に収集・保存している。

# 事業評価シート

番号 0660090 - 005

## 【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館教育普及				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。	
事業の内容	絹絵・版画教室および親子絵画教室の開催	
事業の対象	何を	芸術文化に親しみ、自ら学ぶための機会の提供
	誰に (対象者・対象者数)	市民全般
	どのくらい (具体的 数値で)	3講座
令和元年度 (実施内容)	「絹絵教室」(5日間)、「親子絵画教室」(1日間)、「版画教室」(5日間)を開講した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	515	50	515	50	520	50
アルバイト	0	0	0	0	0	0
<b>計(A)</b>	<b>515</b>	<b>50</b>	<b>515</b>	<b>50</b>	<b>520</b>	<b>50</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		230	260	726
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	講師謝金	230	230	230
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
		0	0	0
<b>計(D)=B+C</b>		<b>230</b>	<b>260</b>	<b>726</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	745	775	1,246

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	131	131	165
<b>計(F)</b>	<b>131</b>	<b>131</b>	<b>165</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	614	644	1,081

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民全般	岐阜市民全般	岐阜市民全般
受益者数	89	89	183
受益者負担額(千円)	131	131	165
受益者負担率(%)	17.6%	16.9%	13.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,899	7,236	5,907

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座開催回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3	3	12
実績値	3	3	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座のべ参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	450	450	450
実績値	339	328	467

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育施設として市民が芸術文化に親しみ、スキルアップを図るための講座であり、市民・社会のニーズに答えている。  専門家を講師に迎え、芸術文化への入り口および技術面で初級者の段階の市民のスキルアップを図る講座であり、広く市民を対象にした講座であるため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	講座修了生がより高いレベルの芸術鑑賞者となることが期待でき、市の芸術文化の水準向上が効率的にできると考えられる。  専門性を持たせつつ、広く市民に聞かれた講座とするためには、市が主催することが適当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、効果的に機会を提供できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	公平性 各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、内容を吟味し効果的に開催することができた。 また、平成31年1月から令和3年1月までの間、大河ドラマ「麒麟がくる」に合わせ、「斎藤道三」や「岐阜」にちなんだ伝統文化を体験できる「道三公の体験工房」を開催し、美術館ならではのノウハウを生かした、教育普及の方策の多様化を図っている。